

COMMON Cutty

カマン カッティ

記憶に残る体験価値を！



ここCOMMONでは、子ども達自身が日々ランチづくりを行います。子ども達は、生まれてはじめて、指以外に、道具を持ってお料理するため、これまでいろいろなものを使ってみました。包丁までの導入として、パン作りに使うスケッパーなどを使っていましたが、ぐらぐらする、力が入らない、とがっている部分がある…など、子どもたちが使いにくそうにしている姿を見ているうちに、ちゃんと扱える幼児用のキッチンツールを作らなければいけないと思いました。

子どもが一人で様々な用途に使えるツールにするにはどうすればよいかを子ども達の手元を見ながら、子ども達の表情を見ながら、毎日のカリキュラムで子どもたちが試行錯誤するのを見守り2年かけて作り上げたものが12役を担うCOMMON Cuttyです。

【手のひらにピッタリ合う持ち手 = 力をコントロールしやすい】 → 切れる食材が増え、スピードもアップ

【立てて置くことができる = 清潔であり手に取りやすい】 → 次の行程がわかりやすい

【先がある = 食材をすくうことができる、混ぜたり和えたりしやすい】 → 料理が完成できる

カマンでは日々クッキングのレッスンがあり、子ども達はその日にいただくランチの下準備をしてきましたが、COMMON Cuttyの登場で、力を入れたときに手のひらを痛がることもなく、姿勢良く立つことができ、一人で黙々と作業を進めている姿がみられ、子ども達だけで一品を仕上げるできるようになりました。できる作業が格段に増え、喜ぶ様子がより多くなりました。自分達で仕上げることは、子ども達にとって大きな喜びであり自信へと繋がっています。

もちろん、カマンでは包丁やクッキングバサミを使うレッスンもありますが、大人の目に守られていることが絶対条件となります。

食育が叫ばれ、幼稚園、保育園でも年長児は包丁を扱ってクッキングをすることが当たり前時代になってきました。そのことはとても大切な教育です。

けれども、時代は大きく変わり、世の中は働く女性が増えてきました。

COMMON

日々の食事作りの中で、子どもと一緒に料理をしたいと願いつつも、なかなか心の余裕がないと出来ないのも事実です。

そのような時に、このCOMMON Cuttyは、大人が簡単な下準備だけをしてあげれば、子ども達が楽しんで料理を作ることができます。兄弟で！お友達と！おじいちゃん、おばあちゃんと！パパと！ママと！キャンプ場で！大人の目が届く同じ空間であれば気楽に扱うことができます。

例えばポテトサラダを作るとしましょう。

大人が加熱したジャガイモさえ用意すれば、子どもはバットの中でCOMMON Cuttyを使ってマッシュすることができます。入れる野菜も子どもがCOMMON Cuttyで切ることができます。YouTube“Cutty Channel”にてレシピ動画で公開予定ですので、動画を閲覧しながら同時にお料理できます。

手を動かす作業は脳も刺激します。大人が調理をしている間、アイパッドやテレビを見て待たせることも多いかと思いますが、COMMON Cuttyがあれば、その日の献立の何かに、子どもの手が加わることになり、子どもの食べる意欲にもつながるのではないのでしょうか？

また、COMMON Cuttyは幼い子ども達だけのツールではありません。学童の子ども達は、YouTubeを見ながら、一人で一品を完成させることもできます。高齢で包丁が使いにくくなった方々も、COMMON Cuttyで調理することの喜びをいつまでも持ち続けてもらいたいと願っています。

時代は加速して進む中、子どもも大人も余裕がなくなってきました。食べ物も、どんどん手軽、簡単、便利なものが登場し、重宝される時代になってきました。「食」について、安全性や栄養など考えなければならないこともあります。まずは「心」です。COMMON Cuttyが食べる者同士の心を繋げる担い手になってくれることを願っています。



子どもが毎日自分でランチを作る
日本で唯一の“食育”プリスクール カマン

COMMON